



SDGs Family conference

SDGs 家族会議

私たちの2030をデザインしよう

報告書

2021年5月～8月

学んで、しゃべって、考える。

福岡のみんなで2030年の世界を考え、 未来設計図を描きます。

私たちの生活をこのまま変えずに続けると、地球はどうなっちゃうの。

2015年9月国連サミットで採択され、国連加盟国193か国が

2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。

世界が世界に約束した17の大きな目標とそれらを達成するための
具体的な169のターゲットで構成されています。

現在の世界の状況を理解しながら、この目標を達成するために

私たちひとりひとりがどのようなことができるのか考え、しゃべって、
学ぶことを目指しました。

限りある資源を活用しながら世界中の人が安心して快適に暮らせるように、
みんなのためにみんなが支える目標SDGs。

SDGsの17項目を達成するために、私たちは生活の中でどのようなことが
できるのか、まずは普段の行動を変えることに挑戦するための未来設計図を
つくりましょう。



CONTENTS

ごあいさつ …01

スケジュール …02

STEP1 説明会 …03

講師 蟹江憲史氏

STEP2 申込 …04

STEP3 研修会 …05

STEP4 本会議 …06

第1回 講師 藤田香氏

第2回 講師 春日文字子氏

第3回 講師 佐座模苗氏

第4回 講師 Ashir Ahmed氏

第5回 講師 矢原徹一

STEP5 発表会 …11

Aチーム

「人と生き物が仲良く暮らす世界を目指して」

Cチーム

「一緒に笑顔のあふれる未来に!」

Dチーム

「安心・快適・協力し合える街づくりをめざして」

Eチーム

「つなげよう SDGsの輪 ごみひろい」

さいごに …15

共催 …16

協賛 …17



ごあいさつ

地球の温暖化が進み、水害などの大規模災害が増えています。

温暖化は、二酸化炭素が大気中に増えたために起きたことがわかり、

世界では二酸化炭素のはい出を減らす努力をしてきました。

そのなかで、二酸化炭素のはい出を減らすには、教育・経済・生物多様性など、

多くの課題をいっしょに解決しなければならないことがわかりました。

そこでSDGsの17目標に世界が賛成したのです。いまや世界中で、行政・企業・

市民が、17目標を達成するために知えをしぼっています。

SDGs家族会議では、小学生とその家族と一緒に、SDGsの目標達成にむかって、

私たちに何ができるかを考えました。

この報告書はSDGs家族会議の参加者みんなの学びの記録です。

参加者は、世界で活やくされている6人の先生から学び、学生やおとなのメンターから

アドバイスを受けながら、じぶんたちで調べ、考え、話しあって提案をまとめました。

発表会でみんなが提案してくれたアイデアはとても希望が持てる内容でした。

この報告書で学びと提案をふりかえりながら、みんなのアイデアを実行にうつし、

協力の輪をひろげていきましょう。



スケジュール

5月8日(土) 16:00~17:10

@ZOOMwebiner

SDGs家族会議の概要や参加方法、SDGsについて説明します。

説明会 講師
蟹江憲史氏

慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科
教授、
国連大学サステナビ
リティ高等研究所非常
勤教授



STEP1 説明会

1部

2部

第1回

6/19 身の回りのものは 世界とつながっている

あなたが普段使っている机や食べものの
材料はどこから来たものなのか考えてみ
ましょう。

第1回 講師
藤田香氏

日経ESG経営フォーラム、日経ESGシニアエディター、
日経ESG経営フォーラムプロデューサー



5グループに
分かれて
ワーク
ショップ

SDGs17項目を
5つに分類して、
5グループに
分かれます。

第2回

7/3 世界の友だちといっ しょに、地球のしくみ をもっと知ろう

世界中に友だちを作り、一緒に楽しく、
地球のしくみと生き物について学びましょう。

第2回 講師
春日文子氏

フューチャー・アース国際本部事務局日本ハブ
事務局長、国立環境研究所特任フェロー



①チームづくり

4家族を1つのグルー
プとして話し合いをし
ていきます。A~Eの
各チームには大学生
が1人ずつ加わり、い
ろんな意見を引き出し
ていきます。

②グループ会議

福岡2030未来設計図
を描くために各回の
テーマに沿って会議を
進めます。

③家族会議

家族でも、SDGsや福
岡の未来について深
い話ができるようにな
ります。

④まとめ

話し合ってきたことを
発表するためにチーム
の意見を1つにまとめ、
発表できるように準備
します。

5月8日(土) 12:00~
5月25日(火) 23:59まで

申し込みはホームページから。研修会
〜発表会までの日程、参加費や参加方
法を確認してご応募ください。

5月29日(土) までに抽選結果をご連絡します。

STEP2 申込受付

6月5日(土) 13:00~16:00

@九州大学伊都キャンパス

森を移植し、開発と保全を両立させた
キャンパスを見学して、社会を変える方
法について考えましょう。

STEP3 研修会

6月19日(土)~8月14日(土)
16:00~17:30

@zoom

1部 SDGs講師による講話 (30分)

2部 グループに分かれて
ワークショップ (40分)

5回のワークショップを通して、福岡
2030未来設計図を描きます。

STEP4 本会議

第3回

7/17 カメさんはどんな海で 泳いでる?

2050年の海。魚よりプラスチックの量が多くな
るってホント? 私たちにできることは?

第3回 講師
佐座模苗氏

一般社団法人SWITCH 代表理事、
Mock COP26 グローバル・コーディネーター



第4回

7/31 病院に行けない人々の ために歩く病院を作っ てみよう

病院がない村に暮らしている人たちに医療
をとどけるにはどうすれば良いでしょうか?

第4回 講師
Ashir Ahmed氏

九州大学大学院
システム情報科学研究院 准教授



第5回

8/17 世界は良くなっている

私たちは人類の歴史の中でいち
ばん良い時代に生きています。さらに良くす
る方法を考えましょう。

第5回 講師
矢原徹一

福岡市科学館 館長 / 九州大学
大学院理学研究院 名誉教授



ワークショップ
リーダー

中川
普巳重

研究推進部
客員教授
産学官連携セン
ター
産学官連携コー
ディネーター

8月28日(土) 13:00~16:00

@福岡市科学館

グループで話し合ってきたことを福岡
市民に向けて提案します。小学生のみ
なさんが代表で発表します。参加全家
族に修了証と副賞が送られます。

STEP5 発表会

STEP 01 説明会

SDGsってなんだろう？

蟹江憲史

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、
国連大学サステイナビリティ高等研究所非常勤教授



SDGsってなんだろう??

世界を大きく
変える

誰一人
取り残さない

世界を持続可能な社会に

していくための17の開発目標

世界の未来の
常識が
詰まっている

3つの持続性が大切

1

経済=お金



2

環境=地球



3

社会=人



大量に生産して大量に
消費・大量に捨てる



地球環境の限界



生まれた時の
環境や性別に
よって決まる地位



3つのNewで変えよう

1

新しい仕組み

ルールではなく
目標(あるべき姿)を
設定



2

新しい測り方

進み具合を測る

遅れていればどこを頑張れば良いかわかる



3

17の目標は 一体のもの

全てにアプローチ



答えはある。どうやってそこにたどり着くかを目標に その方法をみんなで考えよう

POINT

01

日本各地域での取り組み
SDGs未来都市
(2018~2020年度)
各地で先進的
取り組みを紹介



POINT

02

企業による取り組み

車の会社でも

マットレスの会社でも



STEP 02 申込

チームに分かれ、2か月間、会議を重ねます。

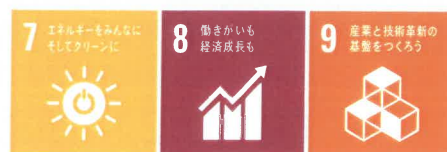
チーム分け

最大 20 家族までの参加枠で募集したところ、9 家族の申し込みがありました。当初、5 チームに分かれる予定を 4 チームに変更したため、B チームはありません。チーム分けは各家族に希望をとり、人数バランスを見て調整しました。

TEAM



TEAM



TEAM



TEAM



中川普巳重

研究推進部 客員教授 産学官連携センター
産学官連携コーディネーター

グループ分けは開講直前まで悩みました。メンターさんの専門分野とメンターミーティングでの様子、研修会で垣間見た参加家族の様子、あとは直感を頼りに組み合わせを考えました。

どんな化学反応が起こるかは始まってみないとわかりません。メンター同士のコミュニケーション、家族間のコミュニケーション、グループとしてのチームワーク力、講座が終わる頃にはチーム全員が1つの家族になっていますようにとの思いを込めて。講座全体の雰囲気づくりも初めが肝心。安心して発言できる場、子供たちの主体性を引き出せる場、笑顔あふれる場となるように、みんな

で盛り上げました。ZOOM、Slack、Jamboard という限られたツール内でのコミュニケーションに初めは戸惑いもあったようですが、後半にはツールを使いこなし、会話や書き込みがにぎやかになりました。そこには「1つの目標を目指し」「共感しあい」「お互いを思いやり」「愛」があったように思います。発表会の様子、最後の記念撮影、たくさんの笑い声と画面の向こうに満面の笑みが並んだ様子は感動的でした。これは3か月間かけてみんなで作り上げてきた世界、みんなの思いが1つになって講座みんなが家族になった感謝の瞬間でした。ありがとうございました。また会いましょう！



STEP 03 研修会

九大 生物多様性保全ゾーンの森 現地研修

矢原徹一

福岡市科学館 館長 / 九州大学大学院理学研究院 名誉教授



研修会では、九州大学伊都キャンパス生物多様性保全ゾーンの森を見学しました。生物多様性保全ゾーンの中央には南から北に小川が流れています。谷の南のはしは埋め立てられ、キャンパスの東西をつなぐ道路がつくられました。この道路の東北側の1.3ヘクタールの斜面に、造成される場所にあった森が移植されました。2000年に移植される時、高い木の幹は切られましたが、20年経って木は大きく成長し、立派な森が育っています。



20年経った人工の森

移植から20年経った森のようすです。この森は人工的につくられた斜面に2000年に移植されました。移植前のキャンパス用地はミカン園に使われていたので森は点々と残っているだけでした。各地の森の木を集めてきて、この斜面に移しました。道路の下にはエコトンネルがあり、アナグマなどが移動に使っています。

森の移植

森を移植しているようすです。先端にとくしゅな四角形のフォークがついた機械を使い、森を1.4m四方、深さ約50cmのブロックに切り取り、移植先に運びました。高さ5m以上の大きな木は、幹を切って運びました。ブロックの土のなかには、植物のたねが入っています。よく年には土のなかのたねが発芽し、たくさんの芽生えが成長しました。

約400種の植物

研修会が開かれた6月には、サンゴジュの花が咲いていました。移植した森林やその周囲には約400種の植物が生育しています。4月のヤマザクラにはじまりいろいろな植物が年中花を咲かせます。これらの花の蜜を吸って花粉をはこぶ昆虫もたくさんいます。伊都キャンパス生物多様性保全事業では、開発と保全が両立できることがわかりました。

STEP 04 本会議 (1)

身の回りのものは世界とつながっている。

藤田 香

日経BP、日経ESGシニアエディター、富山大学客員教授



生活の中にはSDGsと関係することがいっぱい!

私たちがよく使う

油



私たちがよく使う

紙



その材料は...

パーム油

全世界で一番使われている



その材料は...

木材

日本はとっても木材が豊かな



国土の7割!!

だけど

パームをめぐり、様々な問題が。

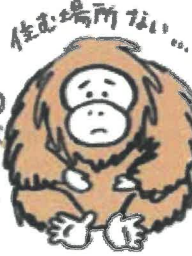
問題1

森林が減ってしまう



問題2

動物や人の暮らす場所が壊れる。



問題3

児童労働



だけど

6割は海外から輸入

海外では...

森林が破壊



私たちに今、できること。

合格マークを選ぼう!!



そこで暮らす人々の自由と暮らしを壊している。

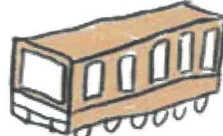
どうすれば森林を守れるだろう?

どうすればこの問題を解決できるだろう?

私たちが購入するものを選ぶことでいろんな人やコトとつながっている!

JR九州

日本の木、土産域の木を使おう 木の電車!



日本でも進む取り組み

沖ノ島

環境教育し世界遺産



ゴミ掃除

調査

STEP 04 本会議 (2)

世界の友だちと、地球のしくみをもっと知ろう

春日 文子

フューチャー・アース国際本部事務局日本ハブ事務局長、
国立環境研究所特任フェロー



STEP 04 本会議 (3)

カメさんはどんな海で泳いでる？

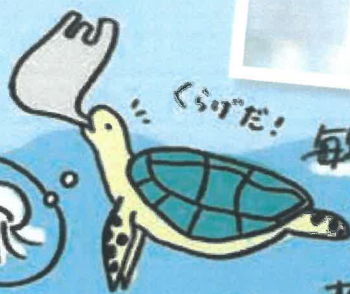
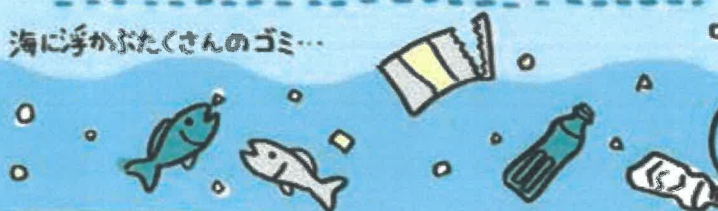
佐座 榎苗

一般社団法人SWITCH 代表理事、Mock COP26
グローバル・コーディネーター



ウミガメ目線の海洋プラスチック問題

海に浮かぶたくさんのゴミ...



毎年1000匹以上の
ウミガメが「漁網
などのプラスチックに
からまって死んでいます。」

気候危機の現状と世界的な若者の活動



地球はあぶない！カウントダウンは終わっている！

MOCK COP26

11~29歳の人々が集まる
140ヶ国330名の若者が国際会議開催

いろいろな立場の人が参加

国連青少年
担当特使

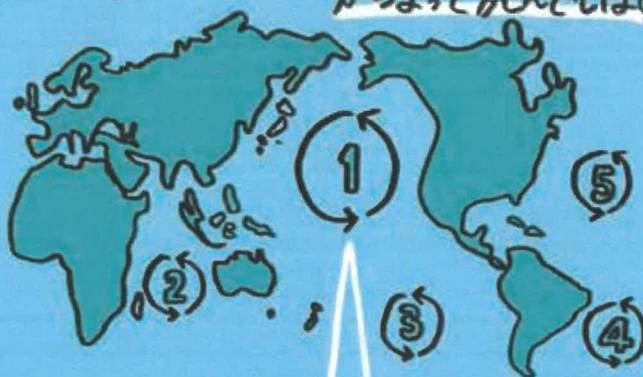
イタリア
環境大臣

COP26の
議長



メディアも
注目

18の政策提案を行った



太平洋ゴミベルト

ゴミは飛行機500機分

日本から30%



x500

ゴミを減らすには..



エコバック



すいとう



カトラリー

世界中の人とコミュニケーションをとり、世界のコトを知るコトで
住み続けられる地球を考えよう



STEP 04 本会議 (4)

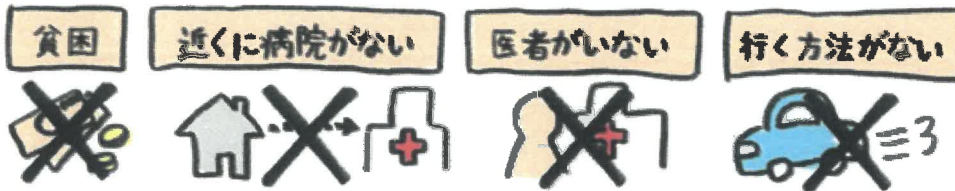
病院に行けない人々のために歩く病院を作ってみよう

Ashir Ahmed

九州大学大学院 システム情報科学研究院 准教授

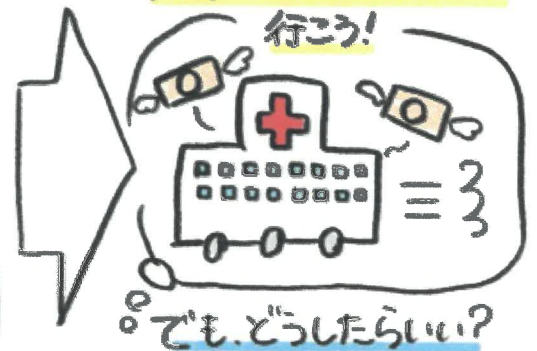


Q どうして病院に行けないの??



💡 病院に行けないなら
病院がみんなのところへ
行こう!

-----世界人口の50%が病院へ行けない-----



9億3,000万人が
世帯収入の10%を医療に費やす

医療費のせいで貧困に

病院の機能を分解



歩く病院にできること!



歩く病院の誕生!

被災地・過疎地など世界どこでも使える

09 〆ヘルスケアのデータ解析をすることができる

ビジネスにもつながる
マイクロ起業家!!



STEP 04 本会議 (5)

世界は良くなっている

矢原徹一

福岡市科学館 館長 / 九州大学大学院理学研究院 名誉教授



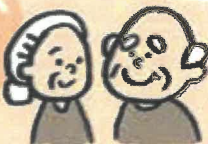
1 いのち

戦争がなくなり、
子どもの死亡数が減った

出生率の
低下



一人一人が
長生きに



----- 1914年以降 -----

医療が身近に



飲み水がきれい



世界はよくなっている
もっと良くしよう

今はもっとも平和な時代

2 豊かさ

収入が増え、長生き
できるようになった



豊かに



便利に



安全に



だけど...

1人あたりの
CO₂の排出量が
増加している...



3 環境

森は増えてきている

戦争で森がなくなったけど...



木を
植えたり



会議を
したり



自然と人間、双方が生きる道はないのか

環境保全  開発

考え方の違う人やコトと **信頼関係** を
結ぶことで持続可能な社会を作ることができる!

そのためいろんな立場の
人たちと話をする



多様性

一緒に取り組もう!



STEP 05 発表会

Aチーム 清川家 廣重家

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



人と生き物が仲良く暮らす世界を目指して ～海の温暖化の観点から～



A チームが考えた 2030 年の理想の世界は、地球温暖化が改善し人間と動物が共に仲良く健康に暮らす世界です。地球温暖化により現在の海にどのような問題が起きているのか、A チームが担当する SDGs のゴール「1, 2, 3」に合わせて見ていきます。

まずは【目標 1：貧困をなくそう】の飢餓の視点です。海の温暖化で魚の価格の高騰と漁業の不況という貧困が起きていると考えられます。

次は【目標 2】の飢餓の視点です。地球温暖化や海水温の変化により、魚が育ちにくくなり捕れなくなります。

最後は【目標 3：すべてのひとに健康と福祉を】からの視点です。気候変動は海の生き物の皮膚病を引き起こします。その他、砂浜減少、海難事故増加、サメなど危険生物の遭遇率増加など、人と動物の健康と福祉に影響します。

私たちは、理想の世界を実現するためにはどうすればいいか、考えました。その方法が、ロケットを使った人工降雨です。この解決策により海の温暖化がとまることで、私たちが挙げた問題だけでなく、気候変動による災害を減らすことができ、人間と動物たちが共に仲良く健康に暮らせるという私たちの理想の世界が実現されます。

協力メンター

● 片山 彩羽 ● 平島 彩香 ● 坂田 美知子



SDGs家族会議賞



いい味ダシてたで賞(RKB毎日放送株式会社)



一緒に笑顔のあふれる未来に！



皆さんはどんな 2030 年になって欲しいですか？

私たちは、「みんなが笑顔になっている世界」になってほしいです。今、火力発電は二酸化炭素を排出し、太陽光発電は発電量が天気により不安定という課題があります。そこで、私たちはみんなが笑顔になる学校をテーマに、今ある発電方法の課題を解決する新しい発電方法を考えました。

一つ目はプール発電です。泳いだ時にできる波や振動によって水車に勢いよく水をかけ、発電します。二つ目はドローン発電です。普段は、ソーラーパネルとして発電していますが、緊急時にはドローンに変身して空や宇宙を飛びながら発電し、蓄電池と AI がついているので、得られた電気を必要な所に運ぶことができます。三つ目は大縄発電です。縄を回すこと、マットの上を飛んだり跳ねたりすること、みんなの声で発電できます。四つ目は発表発電です。みんなが発表する時の声を拾って発電します。発表の頑張りが発電につながるのでみんながもっと発表できます。

これらの発電方法が増えていくと、2030 年にはプールや大縄などを楽しみながら、誰もが発言を進んでできて、ドローンによって電気が足りていない地域の人も助かる、「みんなが笑顔になっている世界」が実現できるようになります。

これを読んでワクワクしてくださった方、あなたも同じゴールを目指す仲間です。みんなと一緒に笑顔のあふれる未来にしましょう！

協力メンター

● 梶原 悠矢 ● 上戸 理志 ● 久保田 詩織 ● 田村 多江子



福岡市科学館賞



ずっと先まで、明るくできるで賞（九州電力株式会社）



安心・快適・協力し合える街づくりをめざして



D チームでは街づくりに興味がある人が多かったので、2030 年の理想の街というのを考えました。私たちの考えた理想の街は「安心：災害に強い」、「快適：ゴミがない」、「協力：みんながつながっている」の 3 つの柱で成り立っています。話し合いをする上で、まずは現在の福岡市を例に、それぞれの家族の住んでいる地域の現状や困りごとを出し合いました。各施設の老朽化、自然災害の増加、ゴミ問題などがあることを受けて、そこから現状に加えてこのようなシステムができたらいいのではないかと、ということで最終的にまとまった案が街アプリのシステムです。各地域で統合されていない防災・減災の情報を一括して共有できるだけでなく、様々なエコ活動をポイントとして可視化することで、人々がつながりながら住みよい街にしていくことができるのではないかと考えました。デジタル媒体以外にもエコ活動のポイントに関してはカードも用意し、個人で取り組むことができるようにすることで、地域内でも家庭内でも誰か 1 人のみに負担がかかるのではなく、全員が楽しんで取り組んでいけることを目指しました。

協力メンター

● 宗像 穂乃香 ● 神蘭 直明 ● 養田 二千菜 ● 山口 誠



JST賞



みんなでそなえま賞（西部ガスホールディングス株式会社）



いっしょに九州を元気にしたいで賞（九州旅客鉄道株式会社）



大きな海を守るのは、わたしたちの手 つなげよう SDGsの輪 ごみひろい



海や森などの自然環境は社会や経済活動の基盤です。これら生態系を守るとは人間の生活を守ることに繋がる、とても重要な課題です。

しかし、今の海にはたくさん問題があります。E チームの皆は普段から海と接し、その中で想像を絶する量のプラスチックが海に存在することを知りました。海洋プラスチックは、絡まり、食べられることで海の生態系に甚大な損害を与えます。そして、この海洋プラスチックは、正常に処理されず「ボイ捨て」されたものなのです。つまり皆がボイ捨てさえしなければ海洋プラスチックは大幅に減らせます。そこで私たちは、どうすれば皆がボイ捨てしなくなるのか、3つの案を考えました。

一つ目は「思いやりゴーグル」。プラスチックが見えるゴーグルがあれば海洋プラスチックの多さに気づきます。二つ目は「ゴミ拾いオリンピック」。ゴミ拾いをスポーツにすることで、皆ゴミ拾いが楽しくなります。三つ目は「海の中で暮らせる漁礁」。海で暮らしてみれば、海の生き物もより身近になり海の問題も自分ごとになります。でもこれも皆に知ってもらわないと始まらない。そこで私たちは紙芝居CMを作りました。この取り組みで、海のごみ問題は、SDGsの他の目標とも繋がっていることを実感しました。

「17個のSDGsの目標全てが実現するために人と海の生き物が共存できる世界」

私たちは、豊かな海がいつまでも続き、生き物と人々の暮らしが安定した2030年の世界を望みます。

ゴミ拾いオリンピック



協力メンター

● 高田 美子 ● 永濱 藍 ● 内野 亜沙美



こども未来局賞



家族でつくるいい一日賞(嘉穂無線ホールディングス株式会社)

西村俊彦

福岡市科学館顧問／SDGs家族会議審査員長



2021年のSDGs家族会議は8月28日に終わりました。あれから3週間、私の中では感動が継続しています。参加した皆さんはどうですか？これは終わりの始まりです。

SDGsが国連で提唱されたのは6年前2015年9月の国連サミットです。15年後の2030年までに国連加盟193カ国が全員協力して、「2030年以降も持続し発展する住み良い世界を作る為、今できるベストを尽くしましょう。」が目標です。国や企業や大学や研究所が様々な知恵・科学・技術を駆使して独自のSDGs戦略を建てて実行してきました。

でも小学生のいる家族を核として大学生や、全世代の老若男女が参画し、企業・行政・アカデミア全体で取り組んだSDGsは数少ないです。実はこのような家族中心の大規模SDGsワークショップは世界的にも珍しく福岡が初めてかもしれません。

だからこそ皆さんで考えた2021年、ひと夏のアイデアや提案を来年に繋げましょう。福岡市SDGsオリンピックやSDGs家族甲子園を開催したいと今、一層思ってます。

2021年9月21日、スタンフォード大学図書館にて

審査員（敬称略）

- 久田 章浩 福岡市こども未来局長
- 斉藤 仁志 国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST) 副理事
- 岩根 修一 RKB毎日放送株式会社 メディアイノベーションセンター プロデューサー
- 龍興 彩香 嘉穂無線ホールディングス株式会社 経営企画部 ワークショップ事業室
- 伊藤 麻子 九州電力株式会社 地域共生本部 エネルギー広報グループ
- 渡邊 知子 九州旅客鉄道株式会社 事業開発本部 開発部 企画開発課
- 一瀬 香 西部ガスホールディングス株式会社 広報部 広報戦略グループ
- 中川 普巳重 福岡大学 研究推進部 客員教授 産学官連携センター 産学官連携コーディネーター
- 矢原 徹一 福岡市科学館 館長、九州大学大学院理学研究院 名誉教授
- 板里 義之 株式会社福岡サイエンス&クリエイティブ 代表取締役

SDGs家族会議 in FUKUOKA事務局

- 西村 俊彦 福岡市科学館 顧問、スタンフォード大学医学部麻酔科・創薬医療機器開発研究所 所長
- 吉武 修平 福岡市科学館 事務局長
- 由布 久美子 福岡市科学館 サイエンスナビ担当
- 板垣 早織 福岡市科学館 プロモーション
- 吉田 宗可 福岡市科学館 サイエンスコミュニケーター

共催

福岡市科学館3階受付前にあるエリア「連携スクエア」では、持続可能な開発目標（SDGs）をテーマに当事業共催企業各社の取り組みをブースにて紹介しています。

+rkb



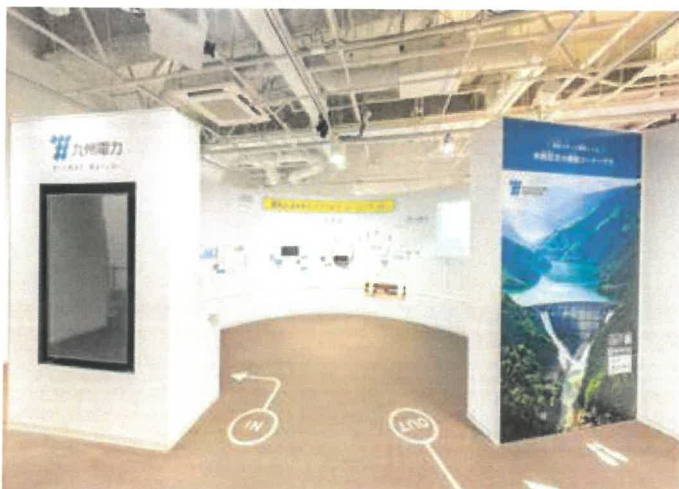
JR九州



KAHOMUSEN HOLDINGS
首都圏ホールディングス株式会社



九電グループ



西部ガスホールディングス



協賛



つくし会
幼児教室
TSUKUSHI

本物の自然素材で家を建てる。

[未来工房]

NATURAL MATERIAL & PLAYFUL[®]



西日本シティ銀行

六本松 蔦屋書店

EduTownSDGs アライアンス

(株式会社日経BP/ 株式会社TREE/ 東京書籍株式会社)

つくし会幼児教室のSDGsへの取り組み

「好きな道で、輝く人をそだてる。」

つくし会では、現代に生まれた子ども達にとって、お受験一辺倒の偏差値偏重教育は、意味を成さないものになると確信しています。私達は、脳が司る神経系統の90%が完成されると言われる、3-6歳のゴールデンエイジに「人生の土台作り」を行っています。未来の豊かな社会に向かって、「好きな道で、輝く人を育てる」ことが我々の使命です。

体操・巧緻性・ペーパー・コミュニケーションのトレーニングから成る、全方位360°教育によって子ども達の「ホンモノのチカラ」を育むことに重きを置いています。



体操

「脳」からの神経伝達を、身体全体にスムーズに届ける。コーディネーショントレーニングを用いて指導します。



ペーパー

図形・数値・算数・算術のメニューを、非習字の基礎テキストシリーズ（紙類：小学館）を用いて指導します。



コミュニケーション

読字力を求められる現代社会で、まず読解力の手助けや手話をしっかりと身につけていただけるように指導します。



巧緻性

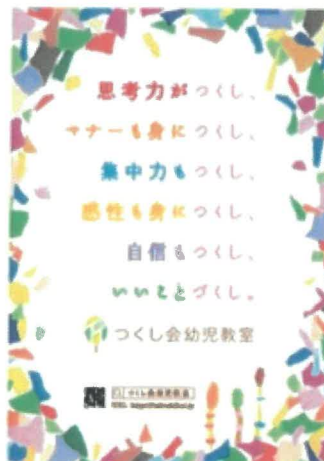
様々な道具を用い、指先を巧みに使うことができるように折り紙・折り紙・工作など様々なメソッドで指導します。



8/20（金）つくし会六本松校 開校！

東京・田園調布で30年の実績を誇るつくし会幼児教室が、九州で初めて、六本松に開校します！福岡、九州、そして日本の20年・30年先の未来をつくる子ども達を、数多く育ててまいりたいと考えております。

体操・巧緻性・ペーパー・コミュニケーションの4つのトレーニングによる360°教育でお子様の成長を実感してください！



つくし会六本松校の情報は以下とQRコードより御覧ください。



<https://tsukushikai.jp/>

社会の未来のために、 私たちができることを。

©GROOVISIONS

西日本シティ銀行は、より良い社会の実現を目指し、

SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを推進しています。

地域のみならず社会の未来のために地域金融機関としてできることを考え、

グループ丸となって積極的に取り組んでまいります。

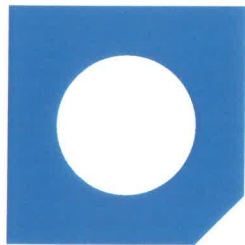


SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



西日本シティ銀行

f @ncbankofficial
t @ncbank_official



福岡市科学館
FUKUOKA CITY SCIENCE MUSEUM